

2025 年度 授業コード: S0205400

授業科目	*初年次セミナー					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	木村 政伸／ブラウン馬本 鈴子						
授業概要	大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場である。基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。本科目は、大学での学びの質を高めるために必要なスタディ・スキルズを身につけることを目的とする。特に、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、本の読み方、問い合わせの立て方、レポートの書き方、より深い学びを得るために文献検索の方法、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶための技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。						

授業形態 対面授業 授業方法 グループワーク

学生が達成すべき行動目標

標準的 レベル	大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、他者と協働して学ぶ姿勢がみられる。
理想的 レベル	大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、自ら積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合(数値)	備考
試験		
小テスト		
レポート	50	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	30	0
その他	20	グループワークにおける参加の程度

カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	
学習課題(予習・復習)								1回の目安時間(時間)	
・復習:授業中で指示された内容について復習をする								1	

授業計画

第1回	講義①: 大学での学びとは (木村)
	・大学で学ぶとは ・そのためのスタディ・スキルズとは ・初年次セミナーの狙い ・研究倫理について
第2回	講義②: 情報へのアクセス法 (情報システム課、図書課) ・パソコンなどの利用法 ・図書などの利用法

第3回	<p>グループワーク①<アイデアの収束法>（木村）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ編成・自己紹介 他 ・箇条書きから図式への技法 <p>（各ファクターをまとめ、関係性を図式化する）</p>
第4回	<p>グループワーク②<アイデアの収束法 2>（全教員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KJ 法を用いてアイデアを構造的にまとめる ・各班ごとに課題を一枚の図式にまとめ、複数班で発表し合う
第5回	<p>グループワーク③<アイデアの発表法 1>（全教員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4班で1グループを作り、2班ずつ1回目と2回目に分け、ディベートの分担を決める ・KJ 法を用いてディベートの内容を整理する <p>（立論のための調査、論理構成の検討などを行う）</p>
第6回	<p>グループワーク④<アイデアの発表法 2>（全教員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順に沿って、初回のディベートを行う <p>（各グループ4班の内2班が討論を行い、残りの2班は進行やジャッジを担当する）</p>
第7回	<p>グループワーク⑤<アイデアの発表法 3>（全教員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回は、残りの2班が討論を行い、前回行った2班は進行やジャッジを担当する ・ディベート終了後、グループワークについての自己評価を行う
第8回	<p>講義③：本の読み方・レポートの書き方（木村）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献について ・文章の構成について ・文章の表現について ・適切な引用方法について
第9回	<p>講義④：本の読み方・レポートの書き方（杉谷・全教員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が作成した過去の文章を素材に、各学生が前回学習した内容に即して添削する ・新聞のコラムなどから段落を削除したものを読んで段落を分け、全体のタイトルを考える ・各自の添削案、段落分け案、タイトル案を班で検討する ・最後に、教員から添削例を示す
第10回	<p>課題レポート① 課題レポート作成にむけて（全教員）</p> <p>（この回以後は、学科ごとに分かれる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートの概要についての説明 ・「問い合わせ」についての説明 ・テーマを決める
第11回	<p>課題レポート② （全教員）</p> <p>（学科別）個人ワーク</p> <p>テーマに関する情報を集める①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献を探す/文献検索（CiNii Research、Google Scholar、J-STAGE 他 利用） ・文献を読む ・問い合わせ立て、プロットを組む <p>（各教室、図書館、PC 室）</p>

第 12 回	<p>課題レポート③（全教員） （学科別）個人ワーク テーマに関する情報を集める② ・文献を探す/文献検索（CiNii Research、Google Scholar、J-STAGE 他 利用） ・文献を読む ・問い合わせを立て、プロットを組む （各教室、図書館、PC 室）</p>
第 13 回	<p>課題レポート④（全教員） （学科別）中間発表（グループワーク） ・問題設定、レポートの論旨の流れ、使用した文献について発表する ・班で発表内容について意見交換を行う ・意見交換をもとに推敲し、後日推敲したレポートを教員に提出する</p>
第 14 回	<p>課題レポート⑤（全教員） （学科別） ・提出されたレポートを添削してフィードバック （個人ワーク） ・返却されたレポートのブラッシュアップを行う ・レポート作成・仕上げ（2000 字程度）</p>
第 15 回	<p>課題レポート⑥（全教員） （グループワーク） ・班内でレポート内容について発表する ・自己のレポートを振り返る</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・溝上慎一著『大学生の学び・入門』 有斐閣アルマ ・学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』 くろしお出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>学生が提出したレポートについて、添削などを行ったうえでフィードバックする</p>
課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・分野にこだわらず、様々な領域を扱う書籍・芸術・情報に関心を持ちましょう。 ・疑問や興味を持ったテーマについて、図書館などデータベースを活用し、学びを深めましょう。 ・基本的なパソコン操作を修得しましょう。 <p>本セミナーでの学びを充実させるには、自らが進んで課題を探求していく姿勢が大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題以外にも様々なことに興味関心を持ち、自ら学ぶ積極的な姿勢で取り組みましょう。 ・図書館を利用し、主体的に学ぶ学習習慣を確立しましょう。 ・仲間との協働を通じて得る学びは貴重です。グループワークには、意欲的に臨みましょう。

学生への メッセー ジ・コメ ント	
----------------------------	--